

<目次>

● 公害・環境・まちづくりフェスタ 華やかに開催

▲ お知らせコーナー

☆6/4 「情報は公開が原則なのになぜ隠すの？」

☆6/11 子ども甲状腺がん裁判を支援するつどい

☆6/17・18 西加瀬プロジェクトアセス説明会

☆6/19 川崎母親大会

☆ ホームページに西加瀬プロジェクト関連の情報を充実させました。

★ 編集後記

● 第27回公害・環境・まちづくりフェスタ 華やかに開催

5月29日（日）溝の口駅前のペディストリアンデッキは、30を超えるブースが広がり、政治に対する市民の一大アピールの場になりました。

公害・環境・まちづくりフェスタは、川崎公害病患者と家族の会が母体となり、川崎公害裁判闘争の一環として始まり、今年で27回目を迎えました。

フェスタ実行委員会には、32の団体がエントリーし、現在、川崎市内では、最も幅広い市民運動の共同の広場にまで発展しています。

お昼時、溝の口ペディストリアンデッキは、たくさんの市民が行き来しています。

通りながら、各団体のブースに目をやり、ちらしを受け取り、立ち止まってシール投票に参加し、相談コーナーに飛び込む方もいました。

今年は、特に、福田市長が進めようとしている川崎市総合計画第3期プランに対する批判と改善を求める訴えが各ブースで目立ちました。

中央舞台上で、患者会の方は、市が進めようとしている「成人ぜん息患者医療費助成制度の在り方の検討」に対し、「今、必要なのは特に北部で増加する一途の市内のぜん息患者に対し、その原因を調べ、適切な対策を打ち出すことだ。見直し、削減などもってのほかだ。」と告発しました。

また、川崎民主市政をつくる会からは、「このフェスタを作り出している共同の広がり確信にして、川崎市が進めようとしている「第3期実施計画」の中の社会福祉、社会保障への攻撃や、駅前再開発、公共施設の民営化を、市民の共同の力でストップさせよう。」との呼びかけを行いました。

▲ お知らせコーナー

☆ 「情報は公開が原則なのになぜ隠すの？」

情報公開制度を活かす川崎市民の会学習会

6月4日（土）13時半～15時半

エポック中原第3会議室

資料代 500円

講師三木由希子（NPO 法人情報公開クリアリングハウス理事長）

問合せ：070-5574-8006

☆ 子ども甲状腺がん裁判を支援するつどい

6/11(土)18時半より

エポックなかはら第3会議室（7F）

資料代 500円 チケットあり

講師：河合弘之弁護士(子ども甲状腺がん裁判副団長)

主催：脱原発川崎市民

瀬川 090-2209-9730 木瀬 080+3494-2411

☆西加瀬プロジェクトに関わる条例環境影響評価準備書説明会

第1回 6/17(金)19時より

第2回 6/18(土)19時より

川崎市生涯学習プラザ 401 大会議室

問合せ：044-200-2156

☆ 川崎母親大会

6/19(日)10時～16時 サンピアン(労働会館)

10時～映画「お菓子放浪記」

13時～サークルネねぎぼうずハンドベル

講演：平和な世界を手渡そう！ー地球はみんなの故郷(ふるさと)だからー

講師：井田徹治（科学ジャーナリスト）

☆ ホームページに西加瀬プロジェクト関連の情報を充実させました。

↓ ↓ ↓こちらまで！！

<https://newkawasaki.jp/>

★ 編集後記

民主市政をつくる会ホームページ、リニア中央新幹線のページに石橋克彦氏（神戸大学名誉教授/地震学）の論考を掲載。

リニア中央新幹線の地震安全性はそもそも検討されていないことを暴き出しています。

「激しい揺れが生じてもガイドウェイの中だから脱線するようなことは無い」というのがこれまでの説明です。

しかし、時速 500Km で走行中に地震が起き、車両とガイドウェイが激突したら何が起きるか。

断層でガイドウェイが変形したらどうなるかなど検討していないか、検討したけどヤバイから握りつぶしたか、どちらかでしょう。

後者の公算が強いですね。

銅の価格が暴騰しています。IT 化にも、EV 化にも銅は欠かせません。

品川から名古屋まで敷き詰める電磁コイルの材料は確保できるのでしょうか。

実はもうリニアを諦めていて、従来型の新幹線を走らせるつもりでは無いかという憶測が飛び始めました。

コロナで、テレビ会議が一般化しました。そんなに急いでどこへ行く。(Y)

★メルマガへの感想や意見をお寄せください。

こちらまで! ↓ ↓ ↓

mailmag@newkawasaki.jp